



神奈川ネット 市政報告

発行日: 2018年4月26日



市議 くにかね久子

http://
kunikane.kanagawanet.jp/



市議 山崎さゆき

http://
yamazaki.kanagawanet.jp/

超高齢社会 地域での支えあいをどうする？

「団塊の世代」が75歳以上になる2025年が近づいてきました。75歳以上になると介護が必要な人や認知症の人の割合が増えてきます。

一方、国の方針で介護保険のサービスは年々使いつらくなっています。手助けや介助が必要になっても地域で自分らしく生きるために、高齢者や地域はどうあればよいのでしょうか。

くにかね久子 (大和市議)

家族介護の限界と 介護保険制度

介護保険制度は「介護の社会化」をめざして18年前に創設されました。家族介護には限界があり、また高齢独居や高齢者のみの世帯が急増しているなかで不可欠な制度になっています。財源の半分は税金、半分は保険料です。

高齢人口の増加により介護認定を受ける人も増え、介護サービスにかかる総費用は、当初の3・6兆円から10兆円台に拡大してきました。

総費用の拡大により、65歳以上の1号被保険者が支払う1ヵ月あたりの保険料は、初めは全国平均3千円弱でしたが2015年に5千500円を超え、このまま行けば2025年には1人あたり8千165円になると推計されています。高齢夫婦の場合、2ヵ月ごとに支給される年金から平均3万2660円が天引きされる計算です。高齢者にとっては大きな負担になります。

介護保険制度の改定

制度の危機的な状況を受けて、厚生労働省は、要支援の方の訪問介護(ホームヘルプ)と通所介護(デイサービス等)を市町村の地域支援事業(新しい総合事業)に移すという大きな改定を実施しました。要介護1・2の方々の生活援助サービスも移行が検討されています。

新しい総合事業の財源は介護保険ですが、認定を受ければ自動的にサービスが給付される仕組みからの大きな転換と言わざ

るをえませんが、また、新しい総合事業の実施状況により、受けるサービスに市町村格差が出ることや、保険料への反映が予想されます。

専門職による現行サービスを継続することも可能です。この場合は高齢者全員が負担する保険料は高くなるざるを得ません。身体介護以外の生活援助はできるだけ住民が担って、支えあう地域をつくらうとする市町村もあります。いずれを選択し実践するかは、市民の合意にかかっています。

協議体*づくりは丁寧に

大和市は支えあいの方向を模索中です。支えあう地域をどうつくるかを協議し実践する「協議体」づくりが始まっています。「協議体」は地域の自主性を尊重し、地区社協や自治連の区域を勘案して市内に11・15つくる予定です。南林間地区が昨年3月に立ち上がり、9月につきみ野地区、今年に新たに2つの協議体の設立が予定されています。

支えあいの地域を創るためには、まず住民の意識変革が欠かせません。主だった人たちだけで協議体をつくるのではなく、広く住民全体に呼びかけて賛同者や参加者を増やす仕掛けが大切です。フォーラムやワークショップ

*協議体とは

(大和市のホームページから) 地域における課題、ニーズの把握や資源の発掘や開発などを行うため、地域で活動する様々な団体などが集い、団体間の情報共有や連携を強化することで、支えあいの地域づくりを進めることを目的とした話し合いの場

の開催等を3月の一般質問で提案しました。

南林間たすけあいセンター

すでに住民ボランティアを組織し援助活動にも着手している「南林間たすけあいセンター」を4月に訪問し、支えあい推進員(生活支援コーディネーター)から話を聞いてきました。



▲活動を始めた南林間たすけあいセンター

介護認定の有無にかかわらず、困りごとがある高齢者等全般に広く対応しています。元気高齢者等のボランティア登録は109人になったそうです。

最初は草抜き等の依頼が多かったそうですが、助けあいとは言えない場合はシルバー人材センターを紹介し、また自宅内に入る場合はトラブルを避けて2人体制で入るよう調整しています。利用料は30分300円、1時間500円で、全額ボランティアの報酬になる仕組みです。ニーズとボランティアのマッチングが「支えあい推進員」の腕の見せ所だと感じました。

行政は制度面での フォロワーを

地域の特性を尊重するならば、

それぞれの地域特性に合わせた要綱の整備が大切です。また何を指すかは地域共通事項のほずです。柔軟な要綱の作成で参加型の支えあいを多面的に支援することが市に求められています。

また、活動中のボランティア自身や相手方の怪我、またモノを損壊した場合の補償を網羅する保険の整備も市の役割です。一般質問ではここへの対応を要望しました。

◇3月議会では、ほかにも「共生教育の推進および(仮称)大和市特別支援教育センターについて」質問しました。

◆くにかね久子の一一般質問はホームページでもご覧いただけます。こちらのQRコードからお入りください。



おしゃべりサロン (議会報告会)の お知らせ

議会や市政の報告をし皆さんからお話を伺う場です。お気軽にご参加ください。(直接会場にお越し下さい)

- 5/15 (火) 13:30~15:30 桜丘学習センター 102和室
- 5/24 (木) 13:30~15:30 IKOZA 307会議室
- 5/25 (金) 13:30~15:30 林間学習センター 和室
- 5/29 (火) 14:00~16:00 つきみ野4丁目

次号
まちづくりレポート
7月発行